

I 総括的事項

2021 年度の本会の事業・活動は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことを前提としてオンラインを中心として事業に取り組み、感染状況を見極めながら一部において小規模な集合形式による会議、研修等の事業を実施して参りました。また、新型コロナ感染防止対策による人と人とが接触することの制限は、ソーシャルワークにおいて従来の手法では対応困難な場合が多いことを認識し、この対応策を研究し学び合うための会員の情報交換に努めて参りました。

そして、「『笑顔を繋ぐ』築こう 誰もが安心して暮らせる社会、高めよう 社会福祉士の価値と専門性、ともに歩もう」をスローガンに掲げた本会中期ビジョンの実現に向けて、広報紙やオンラインを活用しての県民に対する生活の支援と権利擁護、社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発、並びに社会福祉事業に携わる専門職としての技能の向上に関する事業等を積極的に展開して参りましたが、従来は集合で実施してきたもののほとんどがオンラインによる実施となりました。

オンラインによる会議や研修等の長所は、距離的に参加が不可能であった会員、子育て中の会員、家族等の介護のある会員など、にとって参加し易いことですが、情報交換がし難い、仲間の繋がりを作り難いなどの短所があります。コロナ禍以後を見据えたオンライン事業と集合研修の在り方を検討することが課題となっております。

2021 年度に特に取り組んだ事業として、会員の拡大等組織の強化と ICT を活用した会員の繋がりづくり・事業の充実があり、新たなプロジェクトとして、「組織・財政基盤強化プロジェクト」と「ICT 推進プロジェクト」を設置して方策を検討し、できるところから実施して参りました。

また、地域生活定着支援センター関連事業の県からの委託費の増額があり、新たに高齢・障害被疑者等支援や地域ネットワーク強化などを行い、負託にこたえるべく取り組んで参りました。

さらに、長野県高齢者プラン（第 8 期老人福祉計画・介護保険事業支援計画）や長野県住生活基本計画（素案）・長野県障がい者共生社会づくり条例（仮称）骨子案について、日頃の活動や研修を踏まえてパブリックコメントの提案を積極的に行いました。

このほか、ソーシャルワークの基本であります権利擁護について、県民が公平に成年後見制度等の権利擁護のシステムを利用できるように、長野県弁護士会、リーガルサポートながの等との連携に努め、成年後見制度の普及のために、長野県及び長野県社会福祉協議会、長野家庭裁判所との協議を行い、利用促進に取り組んできました。

具体的な事業の実施内容については以下のとおりご報告いたします。

II セミナー等開催事業

1 福祉まるごと学会

- ① 企 画 福祉まるごと学会運営委員会
- ② 日 時 2021 年 6 月 12 日(土) 13:00～16:00
- ③ 会 場 Zoom を使用したオンラインで開催

④ 参加者 140人

⑤ 内容

○ 実践研究発表 正会員8人

時間	ルーム1	ルーム2	ルーム3	ルーム4
13:00～	実践研究	実践研究	地域支援	地域支援
13:25	津久井芳明	長峰 夏樹	内田宏明	勝山淳一
13:30～	地域支援	実践研究	地域支援	実践研究
13:55	佐藤尚治	唐木雅彦	羽田由紀	山岸 舞

○ 事例報告 重層の支援体制整備事業への取り組みについて

報告者：伊藤 直哉氏（伊那市社会福祉協議会 地域福祉課）

○ 講演 重層の支援整備事業と地域を基盤としたソーシャルワーク

ー「断らない総合相談窓口」のネットワークー

講師：野口 定久氏（佐久大学人間福祉学部教授・日本福祉大学名誉教授）

2 『ソーシャルワーカーの使命・専門性・可能性』を考えるフォーラム

～人生における意思決定を支援する～

① 主催 長野県精神保健福祉士協会

② 共催 公益社団法人長野県社会福祉士会

一般社団法人長野県医療ソーシャルワーカー協会

日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック長野県支部

③ 日時 2021年7月11日（日）13:15～16:30

④ 会場 Zoom 塩尻市総合文化センター

⑤ 参加者 120人

⑥ 内容

○ 講演 「メンタルヘルス・自殺予防とソーシャルワーク」

◇ 講師 福島 喜代子氏（ルーテル学院大学 総合人間学部 教授）

○ シンポジウム 「コロナ禍とメンタルヘルス」

◇ シンポジスト 上條 通夫氏（公益社団法人 長野県社会福祉士会 会長）

〃 塩原さとみ氏（南長野医療センター篠ノ井総合病院

〃 鈴木由美子氏（公立大学法人 長野大学 社会福祉学部 准教授

〃 佐藤みずき氏（長野県立こころの医療センター駒ヶ根）

◇ アドバイザー 福島 喜代子氏（前掲）

◇ 進行役 二宮 美和氏（長野県精神保健福祉士協会）

3 重症心身障がい児・者支援シンポジウム

① 企画 中信地区

② 日時 2021年12月5日（日）

③ 会場 Zoom ウェビナーを使用したオンラインで開催

④ 参加者 65人

⑤ 内容

○ 講演 長野県における医療的ケア児の生活と自立支援

◇ 講師 亀井 智泉氏

〔長野県医療的ケア児等スーパーバイザー
信州大学医学部・療育学講座特任教授〕



- シンポジウム 「卒業後：成人移行期の幸せな暮らしと医療」
 - ◇ シンポジスト 福山 哲広氏（信州大学小児科医師）
 - 〃 長谷川 登氏（信濃医療福祉センターMSW）
 - 〃 赤堀 明子氏（多機能型事業所雲のポッケ看護師）
 - 〃 粕野 美和氏（成人移行期の当事者のご家族）
 - 〃 樋口 忠幸氏（松本赤十字乳児院長）
 - ◇ コメンテーター 亀井 智泉氏（前掲）
 - ◇ コーディネーター 三村 仁志（長野県社会福祉士会 元会長）

4 令和3年度 累犯障がい者・高齢者支援を考えるセミナー

- ① 企画 地域生活定着支援センター運営委員会
- ② 日時 2022年1月28日(金) 13:00~15:10
- ③ 会場 Zoom ウェビナーを使用したオンラインで開催
- ④ 参加者 83人
- ⑤ 内容
 - 行政報告 長野保護観察所 岸根守 統括保護監察官
 - 実践報告 長野県地域生活定着支援センター 石川貴浩センター長
 - 講演「少年矯正の実務からみた人間形成の根底とその支援」
 - ◇ 講師 小林万洋氏（長野大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授）



5 医療・福祉現場の身元保証人問題を考えるセミナー

— 入所施設の抱える課題をみんなで乗り越えていくために —

- ① 企画 身元保証人問題検討プロジェクト
- ② 共催 長野県社会福祉法人経営者協議会
社会福祉法人 長野県社会福祉協議会
- ③ 日時 2021年12月15日（水）
- ④ 会場 Zoom ウェビナーオンラインで開催
- ⑤ 参加者 120人
- ⑥ 内容
 - ◇ 基調説明 身元保証人問題検討プロジェクト
 - ◇ 調査報告 長野県社会福祉法人経営者協議会
 - ◇ 現場からの発信
 - ① 「マニュアル作成の経過と課題、活用の事例について」
宮澤牧子氏（社会福祉法人 協立福祉会）
 - ② 「関係機関との連携により身より問題を乗り越えた事例」
甲田伸子氏（社会福祉法人 依田窪福祉会）
 - ◇ オープンセッション
「身寄りのない人の施設入所の課題を乗り越えるために」
登壇者：小林 和博（長野県社会福祉法人経営青年会副会長
上伊那福祉協会 施設長）／岡室 恭輔氏（弁護士・いちりん法律事務所）／
五十嵐 真奈美氏（小諸市保健福祉部高齢福祉課）

11月6日 木曜日		信濃毎日		長野県	
				身寄りのない高齢者らの入所 2割余に断った経験 県内68社会福祉法人調査	
				県内68の社会福祉法人のうち、2割余に当たる16法人が、親族ら「身元引受人」か「身元保証人」がいなかったことを理由に、高齢者らの施設入所を断った経験があることが15日、県社会福祉法人経営者協議会（長野市）が実施したアンケートで分かった。家族関係の希薄化などを背景に身寄りのない人が増加する一方、法人側は医療や死後の対応で身元引受人の不在を不安材料と感	
				じている現状が浮かんできた。身元引受人は入所者の死後、対応などを担う人、身元保	
				証人は支払いの連帯保証人などを受託する。ともに医療行為への同意といった役割がある。厚生労働省は通達で、身元引受人がいなかったことを理由に、施設入所を拒むことを禁止している。	
				県社会福祉法人経営者協議会事務局は「医療行為の同意や死後の対応などが不安で、やむを得ず断っている可能性がある。答えにくいことを回答し、たとえ断ったとしても、それぞれの法人が問題意識を共有したい」とうかがっている。	
				アンケートは1月に実施。身元引受人らがない入所者を受け入れている法人は、検査など医療行為の同意や、施設利用料が未納といった課題があると回答。全体の約7割の法人が身寄りのない入所者を支えるマニュアルを「作成中」または「今後作成を検討する」とした。	
				身元引受人に期待する役割としては緊急時の連絡先（64法人）、遺体や遺品の引き取り（63法人）、医療行為への同意補助（55法人）、利用料などの滞り納付（54法人）などが挙げられた。	
				県社会福祉士会が15日、長野市内の会場とオンラインで開催したセミナーで、県社会福祉法人経営者が行ったアンケートを共有し、身寄りのない高齢者の現状や課題などについて議論した。	

6 医療・福祉現場の身元保証人問題を考えるセミナー2

『身寄りのない人の人生の最終段階における意思決定支援
～ACP（Advance Care Planning）とソーシャルワーク～』

- ① 企画 身元保証人問題検討プロジェクト
- ② 共催 長野県社会福祉法人経営者協議会、社会福祉法人長野県社会福祉協議会
- ③ 日時 2022年1月30日（日）
- ④ 会場 Zoom ウェビナーオンラインで開催

⑤ 参加者 120人

⑥ 内容

◇ 基調説明 身元保証人問題検討プロジェクト

◇ 講演 人生の最終段階における意思決定支援

～ACP (Advance Care Planning) とソーシャルワーク～

講師 植竹日奈氏

◇ ブレイクアウトセッション (課題検討・意見交換)

◇ 全体会 (グループからの報告と課題の共有)

佐藤もも子／野口一輝／和田健太郎／衛藤史朗／土屋ゆかり／高島隼人／風間麻奈／北原俊憲

萱津公子／佐藤ゆり子／宮本雅透／竹内春美／曲渕紀子／小松真樹／宮田正信／長峰夏樹／土屋栄司

佐々木公子／中村友美／中島将／鳥羽弘幸

Ⅲ 研修等開催事業

1 社会福祉士 基礎研修Ⅰ

○ 企画運営 生涯研修センター運営委員会

○ 開催日程 2021年8月8日／2021年11月6日 (2日間)

○ 開催方法 Zoom オンライン研修

○ 受講者 38人

○ 内容 社会福祉士の歩み・組織、生涯研修制度、倫理綱領・行動規範の理解等

○ 会員講師 矢澤秀樹／小池正志／廣瀬豊

2 社会福祉士 基礎研修Ⅱ

○ 企画運営 生涯研修センター運営委員会

○ 開催日程 2021年6月19日～2022年1月15日 (月1～2回・9日間)

○ 開催方法 Zoom オンライン研修

○ 受講者 53人

○ 内容 相談援助、社会福祉援助、ソーシャルワーク、コミュニティソーシャルワーク、社会資源開発、ネットワーク、福祉政策、社会福祉調査、スーパービジョン、権利擁護、実践研修

○ 外部講師 土屋学氏 (長野県弁護士会員)

○ 会員講師 青木靖志／森貴男／黒沢香菜／長峰夏樹／勝又小百合／細田昌義／三村仁志／角田信治



3 社会福祉士 基礎研修Ⅲ

○ 企画運営 生涯研修センター運営委員会

○ 開催日程 2021年6月26日～2022年2月19日 (月1～2回・10日間)

○ 開催方法 Zoom オンライン研修

○ 受講者 24人

○ 内容 対人援助、事例研究、意思決定の支援、地域における福祉活動、組織マネジメント、リスクマネジメント、福祉サービスの質と評価、スーパービジョン、新人教育等

○ 会員講師 森田靖子／森貴男／三村仁志／唐木雅彦／長峰夏樹／上條通夫／萱津公子／細田昌義／勝又小百合

4 社会福祉士実習指導者講習会

- 企画運営 生涯研修センター運営委員会
- 共 催 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
関東甲信越ブロック長野県支部／長野大学
- 開催日程 2021 年 7 月 3 日・4 日 (2 日間)
- 開催方法 Zoom オンライン研修
- 受講者 61 人 (県外者：13 人)
- 内 容 実習指導概論、実習マネジメント論
実習プログラミング論、実習スーパービジョン論
- 会員講師 萱津公子／鈴木由美子／森田靖子／細田昌義



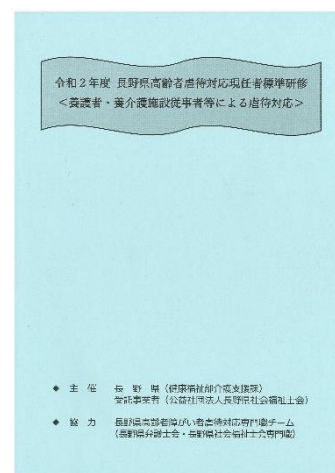
5 社会福祉士全国統一模擬試験

- 企画運営 生涯研修センター運営委員会
- 開催日程 2021 年 11 月 13 日 (土)
- 会 場 学生：長野大学 一般：在宅受験
- 受験者 学生：62 人 一般：9 人
- 内 容 午前 (共通科目) 問題 83 問
午後 (専門科目) 問題 67 問



6 高齢者虐待対応現任者標準研修

- 企画運営 虐待対応委員会
- 期日受講者 2021 年 7 月 7 日 194 人
19 日 71 人
26 日 38 人
- 開催方法 Zoom オンライン研修
- 内 容
 - 1 日目 高齢者虐待防止法の理解／高齢者虐待対応と権利擁護／虐待対応の流れ／初動期段階における留意点とポイント／対応段階、評価と終結段階における留意点とポイント／養介護施設従事者等による虐待対応の留意点とポイント／全体の振り返りと各段階のポイントの整理
 - 2 日目 総合演習Ⅰ：虐待対応の初動期段階
総合演習Ⅱ：虐待対応の対応段階／虐待対応の評価・終結段階
 - 3 日目 総合演習Ⅰ：虐待対応の初動期段階
総合演習Ⅱ：虐待対応の対応段階／虐待対応の評価・終結段階
- ◇ 講 師
 - 外部講師 塩澤裕樹氏 (長野県弁護士会)
 - 会員講師 矢澤秀樹／洪沢昌記／金箱翼／南澤保徳／有賀ひとみ／勝又小百合
 - ファシリテーター (上記会員を含む) 荒井俊光／宮本雅透／対馬純一／平澤大介／木島美佐子
北原由紀／和田健太郎／竹内春美／加藤和美／岩原徳太郎／坂口功



7 市町村職員等高齢者虐待対応力強化研修

- 企画運営 虐待対応委員会
- 開催期日 2022 年 1 月 25 日 (火)
- 開催方法 Zoom オンライン研修
- 受講者 129 人
- 内 容
 - ◇ 講 義 高齢者虐待対応の「判断」と「チームアプローチ」
～権利擁護の意識共有から始める連携体制づくり～

外部講師 岡田多恵子氏（四国学院大学准教授）

会員講師 南澤 保徳

◇ グループワーク・全体セッション

会員講師 南澤 保徳

ファシリテーター 荒井俊光／永井琢郎／金箱翼／竹内春美／和田健太郎／渋谷昌記／坂口功
依田あけみ／平澤大介／岩原徳太郎／北原由紀／

8 対人援助職における感情労働を学ぶ研修

○ 企画運営 虐待対応委員会

○ 開催期日 2022年3月5日（土）

○ 開催方法 Zoom オンライン研修

○ 受講者 54人

○ 内 容

◇ 講 演 対人援助職における感情労働

外部講師 吉田輝美氏（名古屋市立大学大学院教授）

◇ グループワーク・全体会

ファシリテーター 木島美佐子／渋谷昌記／岩原徳太郎／和田健太郎／高橋徹也／樋熊真智子／
依田あけみ／勝又小百合／宮本雅透／衛藤史朗／小竹美千穂／金箱翼／平澤大介

9 講師派遣事業

(1) キャリア形成訪問指導事業（県補助事業）

○ 企画運営 生涯研修センター運営委員会

○ 派遣事業所数 41事業所（内オンライン15）

○ 研修内訳

職業倫理（2）面接技法（2）権利擁護（3）

高齢者虐待対応（11）接遇・コミュニケーション（10）

障がい者虐待対応（5）コンプライアンスの推進（1）

成年後見制度入門（3）ターミナルケア・グリーフケア（2）

その他（2）

○ 派遣会員

青木靖志／衛藤史朗／勝又小百合／金箱翼／萱津公子／北原俊憲／栗林幸隆／小林俊之

佐藤裕子／塩澤宏之／渋谷昌記／鈴木靖史／永池幹／永井琢郎／長峰夏樹／中村修／西澤茂洋

西村昭太／樋口忠幸／平澤大介／平塚直也／南澤保徳／三村仁志／森田靖子／和田健太郎

(2) 虐待対応専門職チーム派遣（県弁護士会との協定に基づく派遣）

○ 派遣チーム：2自治体

○ 派遣専門職：弁護士 山田 啓顕 2回

〃 会 員 金箱 翼 2回



10 講師養成中央等派遣研修

○ 8月15日 倫理綱領、行動規範の伝達に向けた試行研修（萱津公子／森田靖子）

○ 8月31日 関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議（山崎博之）

○ 10月23～24日 第8期虐待対応専門研修（荒井俊光、樋熊真智子）

○ 11月28日 SSW実践アドバイザー養成研修・担当者意見交換会（小林ひろみ、神原井）

○ 12月26日 地域共生社会の実現に向けたSSW実践力養成研修

（衛藤史朗／金箱翼／佐藤もも子／勝又小百合／中村修／南澤保徳）

○ 1月29日～30日 実習指導者講習会講師養成研修（森田靖子／細田昌義）

オンデマンド研修 実習指導者講習会講師養成研修（鈴木由美子／萱津公子／蒲生俊宣）

○ 2月11日～12日 基礎研修講師養成研修

（三村仁志／北原由紀／細田昌義／萱津公子／林篤史）

○ 2月23日 スーパーバイザーのためのリーダー研修（三村仁志）

- ④ 広報紙第187号 2021年11月1日発行
- ・巻頭言（伊藤芳子生涯研修センター運営委員長）
 - ・社会福祉士養成プロジェクトの取り組みについて
 - ・社会福祉士実習指導者講習会
 - ・特集 社会福祉士実習指導者に聞く
 - ・信州ぐるっと!! ・リレーエッセイ・地区学習会

- ⑤ 広報紙第188号 2022年1月1日発行
- ・巻頭言（長戸副会長）
 - ・重心障がい児・者支援シンポジウム
 - ・成年後見制度活用講座
 - ・特集 地区三役から一言&寅年生まれの今年の抱負
 - ・信州ぐるっと!! ・リレーエッセイ・地区学習会

- ⑥ 広報紙第189号 2022年3月1日発行
- ・巻頭言（勝又虐待対応委員長）
 - ・県障がい者共生社会づくり条例意見提案
 - ・市町村職員等高齢者虐待対応力強化研修
 - ・累犯障がい者・高齢者の支援を考えるセミナー
 - ・特集 社会福祉士としての一日に密着
 - ・信州ぐるっと!! ・リレーエッセイ・学習会

長野県社会福祉士会

NEWS

第187号
2021/11/1



発行▶公益社団法人長野県社会福祉士会
会 長 上 條 浩 志
事務局▶〒380-0836長野市南沢町685-2
長野県社会福祉会館6F
編 集▶広報編集委員会
発行部数▶2,400部

TEL▶026-266-0294 FAX▶026-266-0339 E-mail▶info@nacs.jp HP▶https://nacs.jp/

巻頭言 社会福祉士と研修	信州ぐるっと!!	5
～資格は学びの世界へのパスポート～		
「学びを止めない」ための取り組み		1
2021年度 社会福祉士実習指導者講習会		3
社会福祉士養成プロジェクトの取り組みについて		4～5
特集 社会福祉士実習指導者に聞く		6～7
リレーエッセイ		8
南信福祉学習会		9
編集後記		8

巻頭言

社会福祉士と研修 ～資格は学びの世界へのパスポート

伊 藤 芳 子 (理事・生涯研修センター運営委員会委員長)

「みなしを正しくさばき、やめを弁別せよ」(旧約書) この言葉に出会った私は福祉に興味を持ち、社会福祉士に就きました。そこで社会福祉士という国家資格が得られることを知りました。しかし、自分には新しい資格は関係ない、受験資格も取らぬまま卒業、地元で町役場に就職し、程なく福祉学を出たということでは福祉に配属されませんでした。

就職は当時、福祉の専門職はあらず、福祉課程を抱える住民の相談も保健師が一手に引き受けていました。ソーシャルワーカーとして得た収入は低く、かつ困窮していた私を、保健師は家庭訪問に同行させてくれ、奥のケースワーカーや病院の医療ソーシャルワーカーは面接への同意や助言をしてくれました。それでも手探り状態は続き、自分がソーシャルワーカーだと思えず、学ぶ機会も見いだせず、行き詰まってきました。

そんな時、周りのソーシャルワーカーが社会福祉士を名乗り、仲間と学び合っていることに気づきました。自分も学びのチャンスが欲しい、仲間になりたいたい、まずは通修教育を始めました。そこで学びが直す機会を得て受験資格を得ただけでなく、今でも支えてくれる仲間に出会うことができました。

社会福祉士になったからある日、担当していた方の別居家族とやっとならぬで電話が繋がりました。そして、私が投げかけたある言葉にそのご家族は強く反応しました。とても文字にできないような苦しい言葉を私を罵倒してきたのです。その言葉を聞いて私は

はハッとして立ち、「(電話相手を)失敬した。苦情がくる」と思いました。電話を切つてすぐ、落ち込みながら、ある関係機関に報告し対応を相談しました。話を聞いてくれたのは社会福祉士でした。話しているうちにバリエーションの原則が浮かんで、同時に罵倒された原因に気づきました。ああ、私の投げかけた言葉は相手を苦しめた。私の感情を吐き出した。だから相手は反応したのだと。私は社会福祉士として学んだバリエーションに救われ、話を聞いてくれた社会福祉士に救われた。友人が社会福祉士に合格した時、「私は学ぶためのパスポートをもらった」と語っていました。私も社会福祉士資格を取得したことで社会福祉士会主催の研修はもちろん、多くの学ぶ機会と、ともに学ぶ仲間恵まれました。学ぶことで自分が何をすべきか少しづつ分かり、ソーシャルワーカーだと思えるようになり、学んだこととやっとならぬで仲間に出会った毎日となりました。

今、振り返って思うことは、住民や関係者に加え、社会福祉士になったからこその得られた仲間と、学びの力にどれだけ支えられていたかということです。この場を借りてお礼をお伝えするとともに、これからは、現場で頑張っている会員や、いつか現場で頑張りたいと思っている皆さんに学び動かし合える機会をつくってほしいことを願っています。

その人らしさを支え、笑顔をつくる働きができるよう、社会福祉士という学びと仲間を得られるパスポートをともにフル活用していきましょう。

1

長野県社会福祉士会

NEWS

第188号
2022/1/1



発行▶公益社団法人長野県社会福祉士会
会 長 上 條 浩 志
事務局▶〒380-0836長野市南沢町685-2
長野県社会福祉会館6F
編 集▶広報編集委員会
発行部数▶2,400部

TEL▶026-266-0294 FAX▶026-266-0339 E-mail▶info@nacs.jp HP▶https://nacs.jp/

今年、長野県社会福祉士会は設立30周年！ 「中期ビジョン2020」を推進して、会活動に参加しよう	contents	特集ページ 地区三役から一言&寅年生まれの今年の抱負	8～9
重症心身障がい児・者支援シンポジウム開催		リレーエッセイ	10
成年後見制度活用講座		東信地区学習会	10
福祉活動委員会子ども部会研修		編集後記	10
信州ぐるっと!! ～県内の特色ある福祉活動を紹介～			

今年、長野県社会福祉士会は設立30周年！ 「中期ビジョン2020」を意識して、会活動に参加しよう

長 戸 桜 子 (長野県社会福祉士会 副会長)

新春を迎え、会員の皆様と関係機関、事業所の皆様にご挨拶申し上げます。

現在、会員数1,206人の長野県社会福祉士会は今年、設立30周年を迎えます。昭和62（1987）年に『社会福祉士及び介護福祉士法』が制定され、国家資格である社会福祉士が誕生しました。本会は、5年後の平成4（1992）年、社会福祉士国家資格者31人により、『県民福祉の向上と社会福祉士の専門性の向上』等を目的に、任意団体として設立されました。2007年に広報紙が100号を達成。2014年には会員が、600人に達しました。

一昨年は、全世界が新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限や自粛が始まり、なかなか収束の兆しが見えない中でさまざまな活動が制限されてきました。本会でも、当初はウィルスという目に見えない脅威のため、研修の中身や事業継続の困難さを懸念しましたが、時期や形式を変更し、対策を講じながら事業活動を再開し、昨年はほとんどの事業計画を全うすることができました。すべてが手探り状態でしたが、リソースによる会議や研修会、またネット上での事業計画を全うすることができました。

そんな予測不可能な社会情勢下ではありましたが、2020年4月「中期ビジョン2020」を策定し、着実に実行しています。この「ビジョン」を手掛かりに、社会福祉士資

格そのもののあり方、社会福祉士会であること、社会福祉士会を運営すること、社会福祉士会が全員の士とともに、長野県社会福祉士会の活動を構造的に評価改善していく仕組みをつくっています。

実際に共通の目標があることや、大きな方向性が確認できることで会員が一緒に活動しやすいのではないかと考えています。

そして、本会では、福祉制度や地域の変化・課題に対応してさまざまなネットワークを構築しながら、行政への提言や社会問題に対して会としての声明を発言するなど、社会福祉専門職団体としてソーシャルアクションの実践に努めていきたいと考えています。会員数が増えることにより、会としての発言力は増します。今後、さらに新しい仲間を増やし、会活動を活性化していくために、「組織・財政基盤強化推進プロジェクト」「ICT推進プロジェクト」の2つのプロジェクトが発足し、いろいろな取り組みを始めました。

新しい年を迎えました。新型コロナウイルスの影響を想定しながらも、従来の委員会や地区、プロジェクトは「ビジョン」を意識して会活動を展開し、会員向け一斉アンケートも予定しています。

ぜひ、皆さんが取り組める方法で、会の活動に積極的に参加しましょう。

1

長野県社会福祉士会

NEWS

第189号
2022/3/1



発行▶公益社団法人長野県社会福祉士会
会 長 上 條 浩 志
事務局▶〒380-0836長野市南沢町685-2
長野県社会福祉会館6F
編 集▶広報編集委員会
発行部数▶2,400部

TEL▶026-266-0294 FAX▶026-266-0339 E-mail▶info@nacs.jp HP▶https://nacs.jp/

虐待の芽を摘み、障がいのある人もない人も、ともに生きる社会づくり	contents	災害福祉支援学習会	5
信州ぐるっと!!		信州ぐるっと!!	5
障がい者共生社会づくり条例(仮称)骨子案の意見提案		特集 社会福祉士としての一日に密着	6～7
障がい者市町村職員等高齢者虐待対応力強化研修		リレーエッセイ	8
設立30周年 記念公開セミナー		編集後記	8
累犯障がい者・高齢者の支援を考えるセミナー			

虐待の芽を摘み、障がいのある人もない人も、ともに生きる社会づくり

勝 又 小百合 (理事・虐待対応委員会委員長)

「虐待」はとてつもない言葉です。おそらく、誰もが「やろう」と思っているのではない。…だからこそ法律の中に「虐待者」「被害者」の意識の有無は問われない。あります。時折センセーショナルな見出しでも悲惨な事件が報じられることもあります。なぜ…それが防げなかったのか、と…。本当にそう感じます。

私は社会福祉士、特に障がいのある方々のお付き合ひが長いです。仕事を始めた当初、耳が聞こえず、目が見えず、言葉も発しない方との出会いがありました。

ごくわずかな関わり期間の中、適切な関わりが持てず…未だにこの方に対し、どうすれば情報や気持ちを伝えることができるか、気持ちをくみ取ることができたのだろう、暮らしに関わることができたのだろうと問い続けています。

日々の業務の中でもいろいろなことを教わります。当初「怒ってばかりいる人」で、何に対して怒っているのか分からず、態度対応するしかなかった方が、双方のやり取りを聞ける中でその方の世界観を理解し対応を重なることで、ご自身の思いを伝えるようになり、やりいことやりいことと明確に伝えるようになり変わりました。

もちろんその方々の言葉や表現方法の面で決定的ミスややり取りばかりではありませんが、怒りの矛先は自分のことを理解してくれない支援者に対してであったことがよく分かった経験でした。障がいのある方の中には発信することや表現することが苦手な方が多くいます。

日々、私たちは「支援者」としてその方々の前に立つのですが、その方々の独自の発信や発信までの難しさ、発信方法があることを、さまざまな理由で、受け止めず過ぎてしまっていることがあります。障がいのある方も、いろいろな理由の情状や日々の関わりの中さまたげまはかり度、我慢もつきます。誰もがそうですが、我慢ばかりは続かず、結果的に先程の方のように「怒り」として表出してしまうこともあります。

「分らないから」ではなく「相互理解がない」から。社会の中で、お互いに理解し合う」決して一方通行ではなく双方で。それがかなわない環境が続くと「虐待」と言われる状況が発生しやすいと考えます。

虐待は一番の権利侵害です。芽のうちに摘むのが一番です。が、残念ながら国・県の統計を見る限り、高齢者・障がい者ともに減少傾向にあります。被害者の権利保護のためには、疑いのある場面で根拠に基づいた判断と早期対応が求められます。

本会は、県から委託を受け市町村職員等を対象にした「高齢者虐待対応力強化研修」等を開催しています。1月25日開催の研修には市町村職員や地域包括支援センター職員等129人が熱心に受講されました。また、「障がいのある人もない人も、ともに生きる社会づくり」を目標として、長野県障がい者共生社会づくり条例(仮称)骨子案への意見提案もしています。(関連記事2・3ページ)

これから何よりも「伝え合うこと」「思いを認め合うこと」を大事にしながら、思いを分かち合いながら、諦めずに小さな積み重ねを続けたいと考えています。

1

2 ホームページ更新 本会ホームページの学習会・研修会情報等のお知らせの更新

3 一斉メール配信 会員に対する研修会・学習会等のお知らせ、求人情報などの有用な情報の周知

V 成年後見事業（権利擁護センター ぱあとなあながの）

1 成年後見人材育成研修（共催：山梨県社会福祉士会）

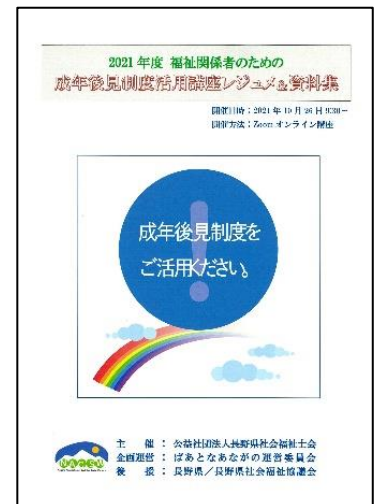
- 企画運営 ぱあとなあ運営委員会（養成研修部会）
- 開催期日 2021年8月28・29日、11月27・28日
- 開催方法 Zoomによるオンライン研修
- 受講者 7人（山梨県1人）
- 内 容 成年後見制度の解説、成年後見活動における判断能力のとらえ方、社会福祉士と成年後見～権利擁護の視点から、財産法の基礎、財産管理のための知識、後見事務の実際、家庭裁判所の実務の理解、家族法の基礎、身上監護のための知識、演習、今後の活動について
- 外部講師 春原隆史氏（北アルプス医療センターあづみ病院精神科医）
依田淑史氏（司法書士・リーガルサポートながの会員）
高野哲浩氏（司法書士・リーガルサポートながの会員）
土屋 学氏（長野県弁護士会員）
長藤美樹氏（長野家庭裁判所主任書記官）
- 会員講師 萱津公子／小池輝昭／北原俊憲／浅井茂／小林俊之

2 ぱあとなあ名簿登録研修

- 企画運営 ぱあとなあ運営委員会（養成研修部会）
- 開催期日 2022年1月22日
- 開催方法 Zoomによるオンライン研修
- 内 容 ぱあとなあの仕事・受任の実際、受任後の実務、演習、後見人のリスクマネジメント
- 会員講師 北原俊憲／小池輝昭

3 成年後見制度活用講座

- 企画運営 ぱあとなあ運営委員会
- 開催期日 2021年10月26日（火）
- 開催方法 Zoomによるオンライン研修
- 受講者 140人
- 内 容 意思決定支援と成年後見制度／成年後見制度の概要／日常生活自立支援事業と任意後見制度／後見業務実務の実際①／後見業務実務の実際②
- 会員講師 北原俊憲／小林俊之／平塚直也／鳥羽弘幸／守屋幹雄



4 ぱあとなあながの4地区全体研修会

- 企画運営 ぱあとなあ運営委員会（継続研修部会）
- 内 容 成年後見を受けるにあたり不安を減らそう
成年後見業務の終了事務について
- 開催方法 Zoomによるオンライン研修
- 開催期日（受講者）
1月22日（27人）、2月13日（39人）、2月21日（22人）、3月12日（19人）
- 会員講師 林和彦／櫻井幸雄／土屋栄司／高橋保行

5 ぱあとなあながの業務監査委員会

- 開催期日 2021年12月9日（木）
- 開催会場 県食糧会館2F会議室
- 監査内容
 - ① 成年後見人等受任者の活動に関すること。
 - ② ぱあとなあ運営・事業に関すること。

VI 生活支援等事業（受託事業）

地域生活定着支援センター事業

1 受託事業

高齢者や障がい者が矯正施設退所後、自立生活が困難な場合、保護観察所と協働して、福祉サービスの利用を援助すること等により、自立生活ができるよう支援を行う。長野県からの受託事業。

2 主な事業内容

- ① コーディネート業務 保護観察所からの依頼に基づき、対象者に対してニーズの確認を行い、受入福祉事業所の斡旋、福祉サービスに関わる申請支援を行う。
- ② フォローアップ業務 コーディネート業務が終了後、地域に定着するまでの間必要に応じて、本人及び福祉事業所等に対して支援を行う。
- ③ 相談支援業務 被疑者・被告人段階での障がい者・高齢者の支援や矯正施設から退所した方の福祉サービス利用に関して、本人や関係者からの相談・支援を行う。
- ④ 高齢・障害被疑者等支援業務 検察庁、弁護士、保護観察所等からの依頼を受けて、障がい者、高齢者等で被疑者・被告人となった人に対する支援を行う。
- ⑤ 地域ネットワーク強化業務 地域福祉支援検討会の実施、福祉事業者巡回開拓の実施、地域福祉研修の実施

3 支援実績

2022年3月末現在

業務区分 区 分		コーディネート			フォローアップ		
		2021年度	2020年度	2019年度	2021年度	2020年度	2019年度
支援人数	高齢者	19	24	14	10	17	15
	知的障がい者	7	13	12	11	10	9
	精神障がい者	13	9	13	7	7	5
	身体障がい者	2	1	2	1	2	3
	計	41	47	41	29	36	32
相談経路	前年度からの継続	17	15	13	23	29	21
	保護観察所	21	21	22	2	1	5
	他県センター	3	11	6	4	6	6
	計	41	47	41	29	36	32
退所時の状況	福祉施設	1	1	2	※ フォローアップは、正式入所できても問題行動を起こし出所4年経過しても継続支援しているケースがある。		
	居宅生活	1	2	5			
	更生保護施設	2	3	3			
	救護施設	2	1	0			
	病院	0	0	1			
	他県帰住等	26	18	13			
	特別調整辞退	2	5	2			
	計	34	30	26			
相談支援業務		2021年度	2020年度	2019年度			
支援人数	高齢者	5(6)	6(4)	3(1)			
	知的障害者	2(5)	2(6)	1(10)			
	精神障害者	2(9)	1(10)	2(9)			
	身体障害者	1(0)	1(1)	1(0)			
	その他	(8)	(6)	(4)			
	計	10(28)	10(27)	7(24)			

4 セミナー・研修会

- 令和3年度 累犯障がい者・高齢者支援を考えるセミナー（セミナーの項目に掲載）
- 第1回地域における包括的伴走支援を考えるセミナー

2022年2月24日(木) 参加者 22人

2月28日(月) 参加者 19人

5 運営体制等

- 困難ケースの指導・助言を中心に、定着支援センター運営委員会を開催
- 職員は、センター長及び支援スタッフ 計5人

児童虐待・DV24時間ホットライン業務

1 受託事業

「児童虐待・DV24時間ホットライン」を設置し、児童虐待及びDV（ドメスティック・バイオレンス）に関する相談・通告について、児童相談所や女性センターの閉庁時間帯に3交代24時間体制で、365日電話相談対応する長野県からの受託事業。



2 業務の内容

- 電話による児童虐待及びDVに関する通告、通報及び緊急の相談等の受理
- 緊急事案を受理した際の児童相談所又は女性相談センターへの速やかな連絡
- その他、電話相談業務全般に付帯する業務

3 業務の体制

- 1日24時間（夜間・深夜・早朝含む）3交代で365日（土・日、祝・祭日、年末年始含む）電話を受ける相談員（臨時職員）6人を雇用して対応
- 毎月1回 電話相談員定例会を開催し情報の共有、相談業務の質的向上を図った。

4 通告通報・相談件数等

2021年度 「児童虐待・DV24時間ホットライン」受付及び処理状況（4～3月）

1 通告通報・相談件数

2 処理状況

	相談種別	前年度	件数	構成比%		緊急連絡	助言・傾聴	他機関紹介	その他
児童関係	児童虐待	198	230	13.5%	⇒	203	9	16	2
	養護	120	127	7.5%		57	14	55	1
	その他(*1)	869	947	55.9%		800	44	59	44
	小計	1187	1304	76.9%		1060	67	130	47
DV女性関係	DV被害	53	30	1.8%	⇒	9	3	18	0
	夫婦問題	54	42	2.5%		2	9	31	0
	親族の暴力	13	14	0.8%		4	1	9	0
	その他(*2)	82	67	4.0%		26	2	36	3
	小計	202	153	9.1%		41	15	94	3
	その他(*3)	133	238	14.0%		0	77	95	66
	合計	1522	1695			1101	159	319	116

*1「児童関係」の「その他」は、虐待以外の児童・生徒からの相談や、関係機関等からの業務連絡

*2「DV・女性関係」の「その他」は、親族問題、住居問題などの相談や、関係機関等からの業務連絡

*3「児童関係」、「DV・女性関係」以外の「その他」は、問い合わせ電話など

VII 法人運営

1 定時総会

- 期日：2021年6月12日（土） 会場：Zoom オンライン
 - 出席正会員数（委任状を含む） 783人
 - 決議・承認事項
 - 第1号議案 2020年度 収支決算について
 - 第2号議案 定款の一部改正について
 - 第3号議案 会費に関する規則の一部改正について
 - 第4号議案 長野県社会福祉士会役員（理事・監事）の選任について
 - 報告事項
 - (1) 2020年度 事業報告について
 - (2) 2021年度 事業計画について
 - (3) 2021年度 収支予算について
 - (4) 理事会等運営及び業務執行理事の権限規程の制定について
 - (5) 地区活動運営規程の一部改正について
 - (6) 謝金・旅費等支払規程の一部改正について

2 監査会

- 期日：2021年4月17日（土） 会場：長野県社会福祉士会事務局
- 期日：2021年10月26日（火） 会場：長野県社会福祉士会事務局

3 理事会

- 第1回通常理事会
 - 期日：2021年4月17日（土）
 - 会場：Web 会議（Zoom）事務局及び役員の事務所、自宅等
 - 決議・承認事項
 - 第1号議案 正会員の入会について
 - 第2号議案 2020年度 事業報告について
 - 第3号議案 2020年度 決算報告について
 - 第4号議案 定款の一部改正について
 - 第5号議案 運営安定化積立金の取り崩しについて
 - 報告事項
2020年度下半期正副会長及び常任理事の職務報告
- 臨時理事会
 - 期日：2021年6月12日（土）
 - 会場：役員等の自宅・事務所 Zoom での会議
 - 決議・承認事項
 - 第1号議案 正副会長の選任について
 - 第2号議案 常任理事の選任について
 - 第3号議案 生涯研修センター長の選任について
- 第2回通常理事会
 - 期日：2021年6月27日（日）
 - 会場：県食糧会館2F会議室及び事務局、役員の自宅（Zoom での会議）
 - 決議・承認事項
 - 第1号議案 正会員の入会について
 - 第2号議案 プロジェクトチーム設置・運営規程の制定について

- 第3号議案 組織・財政基盤強化推進プロジェクトチームの設置について
- 第4号議案 ICT推進プロジェクトチームの設置について
- 第5号議案 プロジェクトチーム員の選任について
- 第6号議案 謝金・旅費等支払規程の一部改正について

● 第3回通常理事会

- 期日：2021年8月28日（土）
- 会場：役員の自宅・事務所 Zoomでの会議
- 決議・承認事項
 - 第1号議案 正会員の入会について

● 第4回通常理事会

- 期日：2021年11月7日（日）
- 会場：塩尻えんぱーく・役員自宅等（Zoom会議）
- 決議・承認事項
 - 第1号議案 正会員の入会について
 - 第2号議案 賛助会員の入会承認について
 - 第3号議案 謝金・旅費支払規程の一部改正について
 - 第4号議案 謝金・旅費等の取扱いに関する内規の一部改正について

● 第5回通常理事会

- 期日：2022年1月16日（日）
- 会場：役員等の自宅・事務所 Zoomでの会議
- 決議・承認事項
 - 第1号議案 正会員の入会について
 - 第2号議案 2022年度定時総会の日時・会場等について

● 第6回通常理事会

- 期日：2022年3月12日（土）
- 会場：役員等の自宅・事務所 Zoomでの会議
- 決議・承認事項
 - 第1号議案 長野県社会福祉士会 賛助会員の入会について
 - 第2号議案 会費に関する規則の一部改正について
 - 第3号議案 謝金・旅費等支払規程の一部改正について
 - 第4号議案 職員給与規程の一部改正について
 - 第5号議案 ぱあとなあ設置運営規程の一部改正について
 - 第6号議案 特定費用準備資金等取扱規程の制定について
 - 第7号議案 特定費用準備資金による、2022年度事業について
 - 第8号議案 2022年度事業計画について
 - 第9号議案 2022年度収支予算について
 - 第10号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
 - 第11号議案 事務局長の選任について
 - 第12号議案 倫理委員会委員の選任について
 - 第13号議案 身元保証人問題等を考えるプロジェクトの名称変更と設置延長について
 - 第14号議案 社会福祉士実習指導養成プロジェクトの設置延長について
 - 第15号議案 30周年記念冊子編集プロジェクトの設置について
 - 第16号議案 30周年記念冊子編集プロジェクトチーム員の選任について

5 常任理事会

- 4月17日／6月27日／8月28日／11月7日／1月16日／3月12日

6 正副会長会議

- 4月6日／4月17日／5月18日／5月26日／6月2日／6月16日／6月27日
7月12日／8月18日／8月28日／9月15日／9月28日／10月27日／11月7日
12月7日／1月5日／1月16日／1月20日／2月15日／3月2日／3月12日

7 パブリックコメントの提案

(1) 新たな長野県高齢者プラン（第8期老人福祉計画・介護保険事業支援計画）策定の意見・提言

- 提案期日 2021年5月27日
- 提案内容 「市町村の重層的支援体制整備事業の推進」や「身寄りのない高齢者が介護老人福祉施設の入所を拒否されない仕組みづくり」「市町村成年後見利用促進基本計画の策定支援」はじめ30項目の具体的意見・提案を提出
- 提出先 長野県介護保険課宛
- 提案結果 長野県のホームページにパブリックコメント実施結果が公表されている。

(2) 長野県住生活基本計画（素案）への意見・提案

- 提案期日 2021年10月13日
- 提案内容 「身寄りが無いことで身元保証人を確保できない人も排除されない共生社会を目指す」ことや県が独自に規定する住宅確保要配慮者に「犯罪をした者等」及び「身寄りがなく身元保証人が確保できない者」の追加提案をはじめ、37項目の具体的意見・提案を提出
- 提出先 県建設部建築住宅課宛
- 提案結果 長野県のホームページにパブリックコメント実施結果が公表されている。

(3) 長野県障がい者共生社会づくり条例（仮称）骨子案への意見・提案

- 提案期日 2021年12月22日
- 提案内容 「障がいのある人もない人も、ともに生きる社会づくり長野県条例」名称の提案他21項目の具体的意見・提案を提出（県障がい者支援課宛）
- 提案結果 長野県のホームページにパブリックコメント実施結果が公表されている。

VIII 委員会・地区活動・全国会議等

1 委員会活動

(1) 一般委員会

① 福祉活動委員会（38人）

- 4月20日（火）部会長会議
- 5月12日（水）部会長・支部長・PT長会議
- 11月20日（土）子ども部会会議
- 11月27日（土）「ヤングケアラーについて学びましょう」
- 2月1日（火）部会長会議
- 2月3日（木）未成年後見連絡会・子ども部会合同会議
- 3月24日（木）「民法改正・成年年齢引き下げの経緯と想定される影響」

② 虐待対応委員会（38人）

- 4月11日（日）正副委員長会議
- 4月17日（土）標準研修打合せ
- 4月25日（日）標準研修打合せ
- 5月8日（土）施設向け虐待対応研修検討会議

- 5月31日（月）県・弁護士会打合せ
- 6月12日（土）虐待対応委員会
- 6月27日（日）標準研修打合せ
- 7月18日（日）標準研修打合せ
- 7月23日（金）標準研修打合せ
- 8月10日（火）施設向け虐待対応研修検討会議
- 10月 4日（月）施設向け虐待対応研修検討会議
- 10月 17日（日）高齢者虐待対応力強化研修幹事会
- 11月 11日（木）施設向け虐待対応研修検討会議
- 11月 17日（水）高齢者虐待対応力強化研修幹事会
- 12月 5日（日）施設向け虐待対応研修検討会議
- 1月 22日（土）高齢者虐待対応力強化研修幹事会
- 2月23日（水）施設向け虐待対応研修検討会議

③ 広報編集委員会（16人）

- 6月12日（土）広報委員会
- 通年 広報紙の編集・校正作業（隔月奇数月1日発行に合わせて）

(2) 事業委員会

① 生涯研修センター運営委員会（15人）

- 5月15日（土）研修委員三役会
- 6月12日（土）生涯研修委員会
- 6月17日（木）基礎研修Ⅱ打合せ
- 6月22日（火）実習指導者講習会打合せ
- 7月 8日（木）基礎研修Ⅱ打合せ
- 7月27日（火）基礎研修Ⅰ打合せ
- 8月 5日（木）基礎研修Ⅱ打合せ
- 8月19日（木）基礎研修Ⅲ打合せ
- 9月 8日（水）基礎研修Ⅱ打合せ
- 10月 4日（月）基礎研修Ⅱ打合せ
- 10月12日（火）基礎研修Ⅲ打合せ
- 11月 1日（月）基礎研修Ⅰ打合せ
- 12月16日（木）研修委員三役会
- 1月18日（火）基礎研修Ⅲ打合せ
- 2月 3日（木）基礎研修講師生涯研修委員合同会議

② 権利擁護センターぱあとなあ運営委員会（43人）

- 5月15日（土）運営委員会
- 5月25日（火）未成年後見打合せ
- 6月12日（土）運営委員会
- 7月15日（木）未成年後見打合せ
- 7月28日（水）継続研修部会
- 8月 3日（火）成年後見人材育成研修打合せ
- 8月17日（火）未成年後見打合せ
- 8月19日（木）成年後見人材育成研修打合せ
- 8月24日（火）養成研修部会
- 8月30日（月）運営委員会
- 10月 1日（金）継続研修部会
- 10月20日（水）運営委員会
- 11月14日（日）継続研修部会
- 1月 9日（日）役員会
- 1月29日（土）運営委員会

③ 地域生活定着支援センター運営委員会（8人）

- 6月15日（火）第1回運営委員会
- 8月26日（木）第2回運営委員会
- 10月21日（木）第3回運営委員会
- 12月16日（木）第4回運営委員会
- 2月17日（木）第5回運営委員会

(3) 特別委員会

① 倫理委員会（5人）

委員長選出はメールで実施

② ばあとなあ業務監査委員会（10人）

正副委員長選出はメールで実施、12月8日に開催予定

③ 福祉まると学会運営委員会（10人）

- 4月 8日（木）打合せ
- 5月13日（木）打合せ
- 5月27日（木）打合せ
- 6月 2日（水）打合せ
- 6月24日（木）反省会
- 10月13日（水）来年度の開催要項
- 11月10日（水）来年度の開催要項

④ 災害福祉支援運営委員会（10人）

- 7月 3日（土）運営委員会
- 12月 6日（月）運営委員会
- 1月29日（土）災害福祉支援委員会学習会

⑤ 選挙管理委員会（3人）

- 4月 5日（月）選挙管理委員会

(4) プロジェクト会議等

① 成年後見制度利用促進プロジェクト（10人）

- 6月30日（水）三士会・家裁協議会（15人）
- 9月14日（火）プロジェクト会議
- 10月27日（水）三士会・家裁協議会（15人）

② 身元保証人問題を考えるプロジェクト（15人）

- 4月28日（水）身元保証PT第1回会議
- 5月24日（月）身元保証PT第2回会議
- 5月27日（木）『身寄り』が問題にならず権利が護られる社会を目指して」学習研究会
- 6月30日（水）身元保証PT第3回会議
- 8月23日（月）身元保証PT第4回会議
- 9月 9日（木）ふっころプラン推進会議
- 9月23日（木）身元保証PT第5回会議
- 10月 6日（水）県住生活基本計画への意見提案のための学習・検討会
- 10月13日（水）長野県社会福祉法人経営者協議会令和3年度第2回役員会
- 10月24日（日）身元保証PT第6回会議
- 11月 1日（水）信州みよりだより（創刊号発行、2,400部会員・事業所）
- 11月23日（火）身元保証PT第7回会議
- 1月15日（土）身元保証PT正副会議
- 1月25日（火）身元保証PT第8回会議
- 1月 1日（土）信州みよりだより（第2号発行、2,400部会員・事業所）
- 3月 1日（火）信州みよりだより（第3号発行、2,400部会員・事業所）
- 3月27日（日）身元保証PT第9回会議

③ 社会福祉士養成の検討プロジェクト（7人）

- 5月31日（月）プロジェクト会議
- 7月19日（月）プロジェクト会議
- 7月31日（土）実習指導者座談会
- 8月30日（月）プロジェクト会議
- 11月17日（水）プロジェクト会議
- 1月24日（月）プロジェクト会議
- 1月29日（土）実習指導者座談会
- 3月4日（金）プロジェクト会議

④ 中期ビジョン推進検証プロジェクト（8人）

- 7月30日（金）プロジェクト会議
- 8月25日（水）プロジェクト会議
- 9月25日（土）中期ビジョン推進検証作業打合せ
- 12月7日（火）中期ビジョン推進検証作業打合せ
- 1月20日（木）プロジェクト会議
- 3月30日（水）プロジェクト会議

⑤ 組織・財政基盤強化推進プロジェクト（7人）

- 7月30日（金）プロジェクト会議
- 9月16日（木）プロジェクト会議
- 11月5日（金）プロジェクト・小会議
- 11月15日（月）第1回20代オンラインミーティング
- 11月19日（金）第2回20代オンラインミーティング
- 11月25日（木）プロジェクト会議
- 12月27日（月）プロジェクト会議
- 2月21日（月）プロジェクト会議

⑥ ICT推進プロジェクト（9人）

- 7月19日（月）プロジェクト会議
- 8月21日（土）プロジェクト会議
- 9月9日（木）プロジェクト会議
- 10月11日（月）プロジェクト会議
- 12月15日（水）プロジェクト会議
- 12月27日（月）プロジェクト会議

⑦ 設立30周年記念冊子編集等プロジェクト（11人）

- 3月22日（火）プロジェクト会議

2 地 区 活 動

- 6月12日（土）東北中南信地区三役合同会議

(1) 東信地区

① セミナー・学習会等

- 8月26日（木）「コロナ禍における高齢者福祉の『今』」
- 11月18日（木）「コロナ禍におけるソーシャルワーク実践」
- 1月13日（木）「コロナ禍における障がい福祉現場の権利擁護」
- 2月19日（土）東信地区総会セミナー

② 役員会

- 5月5日（水）三役会
- 5月15日（土）役員会
- 6月4日（金）福祉活動委員会・三役合同会議
- 12月9日（木）三役会
- 1月19日（水）役員会

- 2月 9日（水）三役会
- 3月23日（水）福祉活動委員会・三役合同会議
- ③ 地区総会
 - 2月19日（土）出席者185人（委任状含む）

(2) 北信地区

- ① セミナー・学習会等
 - 7月20日（火）『『コロナ禍』何が起きている？何が問題？』
 - 9月30日（木）「生きづらさの背景は？」
 - 1月28日（金）『『家族』とどう関わる？』
 - 2月19日（土）北信地区セミナー
- ② 役員会
 - 5月28日（金）役員会
 - 7月16日（金）三役会
 - 9月27日（月）三役会
 - 11月24日（水）三役会
 - 1月17日（月）三役会
 - 1月21日（金）役員会
 - 3月24日（木）三役会
- ③ 地区総会
 - 2月19日（土）出席者165人（委任状含む）

(3) 中信地区

- ① セミナー・学習会等
 - 10月17日（土）「新型コロナウイルス感染症対策現在の取り組みを学び合う」
 - 2月19日（土）中信地区セミナー
- ② 役員会
 - 10月17日（土）役員会
 - 11月10日（水）「塩尻木曽ブロック情報交換会」
 - 11月11日（木）中信地区まると学会打ち合わせ会議
 - 1月20日（木）2021年度中信地区セミナー講師打ち合わせ会議
 - 2月14日（月）三役会
- ③ 地区総会
 - 2月19日（土）出席者151人（委任状含む）

(4) 南信地区

- ① セミナー・学習会等
 - 7月 8日（木）役員向け学習会「オンライン学習会の開催の方法について」
 - 7月15日（木）南信州ブロック「地域で暮らす暮らし続けるための取り組み」
 - 8月18日（水）上伊那ブロック「SSWからみえるヤングケアラーの姿とその背景」
 - 9月28日（火）諏訪ブロック「生活援助従事者研修って？」
 - 10月21日（木）南信州ブロック「下伊那での多機関連携を学ぶ
～コロナ禍における生活・就労支援について」
 - 11月29日（月）上伊那ブロック学習会「身寄りのない高齢者の支援を考える」
 - 12月21日（火）第2回諏訪ブロック学習会「障がい者の働くを支える」
 - 1月30日（日）南信地区学習会「南信州地域における医療連携の現状」
 - 2月20日（日）南信地区セミナー
 - 3月22日（火）諏訪ブロック学習会「我が事・丸ごと」資産形成
- ② 役員会
 - 4月28日（水）上伊那ブロック役員会
 - 5月28日（金）三役会
 - 10月 4日（月）上伊那ブロック役員会

- 1月22日（土）三役会
- ③ 地区総会
 - 2月20日（日）出席者143人（委任状含む）

3 日本社会福祉士会／関東甲信越ブロック会議等への派遣・出席

- 4月11日 第1回全国生涯研修委員会議（長戸副会長、伊藤委員長、矢澤副委員長）
- 5月22日 ぱあととなあ活動報告書 IT化に関する説明会（鳥羽副委員長）
- 6月19日 日本社会福祉士会第33回通常総会（上條会長）
- 8月30日 都道府県社会福祉士会災害担当学会議（山崎委員長）
- 10月2日 日本社会福祉士会臨時総会／都道府県士会・会長会議（上條会長）
- 10月7日 日本社会福祉士会助成制度プロジェクト（上條会長）
- 10月17日 第2回全国生涯研修委員会議（長戸副会長、伊藤委員長）
- 11月6日 都道府県ぱあととなあ連絡協議会（勝又委員長、北原委員長）
- 12月4日 甲信越社会福祉士会連携会議
- 1月22日 関東甲信越ブロックぱあととなあ連絡協議会（宮入副委員長・鳥羽副委員長）
- 2月27日 都道府県社会福祉士会災害担当学会議（山崎委員長）
- 3月19日 日本社会福祉士会臨時総会（上條会長）

IX そ の 他

1 正会員の状況

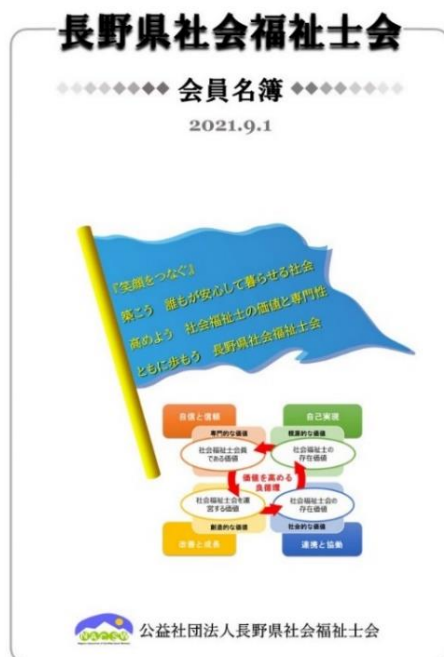
正会員：1,185人（2022年3月31日現在）

入会率：26.9%（全国的には高い方から7番目）の位置です

入会者：61人 退会者：30人 実質増：31人

2 会員名簿の作成配布

- 広報紙 9月1日付けに同封 会員：1,204人



3 社会福祉士実習指導者啓発パンフ作成配布

- 社会福祉士養成検討プロジェクト企画編集
- 広報紙 9月1日付けに同封 2,400部

